

イルカ死亡問題、公の施設「適正」配置などで質問 春日謙信交流館など4会場で議会報告会・意見交換会開催

市議会主催の議会報告会・意見交換会が9日～13日までの期間に春日謙信交流館、安塚コミュニティプラザなど市内4会場で行われました。

議会報告は3月議会を踏まえてのもの、意見交換会はテーマはなんでもかまわないとされています。

いずれの会場も正副議長が3月議会の全体的な報告を行い、その後、総務常任委員会など4つの常任委員会の正副委員長がパワーポイントを

使って委員会審査の特徴などを説明しました。私は9日の春日謙信交流館（イラスト）、12日の柿崎コミュニティプラザ（写真）に出席しました。以下は、参加した市民から出された質問、意見、提案、要望です。

●直江津の活性化を考え、直江津駅、エルマール、水族館をアーケードで結べないか。

●大地震で津波のことを考えたら、信号機の下に「ここは標高何メートル」という表示をしてほしい。

●オンブズパーソンに持ち込んだ市民の声はすべて市長に届いているか。

●水族館のイルカ死亡について検証委員会では、プールの大きさは問題なしとしているが、どう考えるか。

●ふるさと納税のお返しでは、市内のすべてのお店で使える商品券を考へてもらいたい。

●保倉川の分水計画、早く進めてほしい。

●GIGA（ギガ）スクールでは子どもたちだけでなく、先生方も多忙になるなどたいへんだ。議会からもサポートしてほしい。

●オリンピック・パラリンピックは新型コロナウイルスが広がるなかで中止すべきとの声も出てくる。中止もあ



【ヤマシャクヤク】ポタシ科の多年草。漢字で「山芍薬」と書きます。花期は4月から6月。花が開いているのはほんの数日ですので、開花中のものにはめったに出会えません。真ん中の雄しべのまわりには黄色のたくさんの雌しべが囲みま

●イルカの防風壁を作るくらいだから、家を守るための（松林の）防風林の復興をお願いしたい。
●聴覚障害者は新型コロナウイルス禍で苦勞している。マスクをしていると相手の言うことがわからない。公の会などを開く時は、口元が見えるようにできないか検討してほしい。
議会報告会・意見交換会で出された参加者の声は市議会の課題調整会議で対応策を協議し、「委員会」で検討する「行政側に伝える」などに分類し、対応します。



●産廃の最終処分場候補地は柿崎区内で4か所拳がっている。なんで柿崎に集中したのか。
●温浴施設やキャンプ場なども公の施設の対象に正配置の対象になっっている。町内の集まる場所、みなさんが楽しむ場所がなくなっていく。市はどこまで減

日本共産党オンライン演説会 北陸信越ブロック

日時：5月16日午後2時から
弁士：田村智子副委員長、藤野衆院議員ほか。
※インターネットで日本共産党から入ることが出来ます。市政での要望などの情報もお寄せください。弁士に答えてもらうことがあります。



No.2011 2021.5.16
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い 第六五八回 牛飼いの心、今も

考えてみれば、これまで母と一緒に映画を観た記憶はありません。ひよっとすると、今回が初めてかも知れません。

「ひよっとすると」と書いたのは、六〇年ほど前、旧源小学校水源分校で青年会主催の映画を観た時、母も一緒だったかも知れないからです。記憶にないのですが。

今回、母と一緒に映画を見たのはテレビ初登場のドキュメンタリー映画、「夢は牛のお医者さん」です。私はこの映画を高田世界館などで四回観たのですが、長年にわたって牛を飼っていたわが家のことと重なることが多く、「これは母にもぜひ観てもらいたい」と思っていました。

ただ、普通の映画館や映写会場まで母を連れていくのは無理でしたので、今回のテレビ放映は願ってもないことでした。

「夢は牛のお医者さん」の放映が始まったのは今月七日の午後六時一五分から。母は電動イスに座ってテレビを見つめていました。牛が出てくる映画に母がどういふ反応をするか、私は時どき、母の表情を見ながら、映画を観ました。

母がこの映画に反応し、最初に口を開いたのは「牛の卒業式」のシーンです。映画の主人公の知美さんが旧松代町筋平小学校の児童だった時の出来事でした。子牛の段階から長期間世話してきた牛を出荷する前に、子どもたちは「牛の卒業式」を行い、泣きながら、牛たちに感謝の言葉を伝えていました。母はこの場面を見て、わが家で父が乳搾りを始めた当時のことを思い出したのです。

「とちや、村屋の中村さん、どうしなっただもんだ。おらちに来て、乳搾り、教えてくんなったこて」

「もう亡くなったよ。いま、あそこんちは柿崎へ出なっただよ」

「へー、そいがか」
中村さんというのは司法書士をされていた

た中村英一さん（故人）です。中村さんは山間部の源地区で酪農をした草分け的な存在でした。

知美さんたちは、学校で子牛だけでなく、豚も飼いました。子牛はある程度肉がつけば、肥育の素牛として売られます。豚とて同じです。母は、豚の出荷の場面をじっと見ながら、言いました。

「階段とこ、チョンチョンと上がるわ。子ども泣いているな、はらいながって」

わが家でも、牛を家畜商のトラックに乗せて別れるときはいつもつらかったものです。母は、映画でそのことを思い出していました。さらに、父、照義が豚肉を食い過ぎた時のことも思い出したようです。

「とちや、豚の肉、いっぺ食って、腹のまわりカイカイになった。栃窪の温泉に通って治したがど……」

映画を観ながら母と共にテレビ画面に釘付けになったのは、知美さんの実家での牛のお産の場面でした。難産となっている牛を助けるために、破水して出てきた、子牛の足にロープを巻き、家族みんなが力を合わせてひっぱり、こっぴどくは、わが家でも何度も経験しました。

映画ではロープを使ったか不明ですが、子牛の足が出てきて、子牛の体全体を引っ張りだすまで、無意識のうちに腕に力が入り、「よし、よし、よーし」と声をかけていました。母も声こそ出さなかったものの、私と同じ気持ちだったと思います。

「夢は牛のお医者さん」は、牛の病気を治すために獣医になりたいという知美さんの夢を追うドキュメントです。九七歳の母は、十数年前まで搾乳時の「あとしほり」や子牛の体をこするなどの仕事をして頑張っていました。映画に登場した牛が産後、エサを食べなくなった姿を切ない目で追う母を見て、「母はいまだに牛飼いの心を持っている」と思いました。

急きよ、野の花案内人に

先日、柏崎市の新婦人の温泉同好グループのみなさん9人が尾神岳の麓にある温浴施設、スカイトピア遊ランドに来られました。

昼食後、遊ランド周辺の散策に出かけることになり、私は、スミレ、ウワミズザクラなどの「野の花案内人」を務めさせてもらいました。私の拙い説明でも喜んでくださいました。良かったです。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	5月5日(水)	5月12日(水)
上越南消防署	0.053	0.057
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.067	0.070
東頸消防署	0.057	0.047
名立分遣所	0.067	0.050
高士分遣所	0.057	0.047



柱のきずはおとしの…

吉川区の浄土真宗本願寺派寺院、善長寺の掲示板がこのほど替わりました。たぶん、今回も書いておられるのは前坊守さんです。

「柱のきずは おとしの年々ちぢまる 私の身長」のじつに楽しい掲示板ですね。掲示板の左側には鯉のぼりの絵も添えてあります。